

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

303号

2016年4月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

激動する朝鮮半島情勢下で実施される韓国総選挙

4月13日、韓国では第20代国会議員選挙が実施されます。本紙が皆様の手元に届く頃には、与野党間の熾烈な選挙戦が繰り広げられていると予想されます。今回の選挙の特徴は、何と云っても北朝鮮が今年1月に実施した水爆実験と2月の人工衛星打ち上げに対する国連の「制裁」決議と韓米日の独自「制裁」などに加えて、史上最大規模の韓米合同軍事演習「キー・リゾルブ」「フォール・イーグル」が実施され、南北、朝米間の軍事緊張が極度に高まった中で行われることです。もう一つは与野党ともに来年の大統領選挙を意識した「公認候補」をめぐる醜い党内抗争が露骨に表面化したことです。国民の「選ぶ権利」を侵害しているとも言えるひどい状況が続いています。

与党セヌリ党は過半数以上を、第1野党の共に民主党は130議席以上を、第2野党の国民の党は40議席以上を目指し選挙戦に突入しています。進歩勢力は昨年統合進歩党の不当な「解散命令」で解党され、所属議員の議員職が剥奪された後、中心軸を失い混迷を深める中、一部の勢力が民衆連合党を結成しましたが「汎進歩勢力」の大結集を望む声も多数あります。

昨年11月、朴槿恵(パク・クネ)大統領が国务会議の席上で「真実な人だけが選ばれるように」との発言があって以後、与党セヌリ党内で候補者選定の暗闘が始まりました。「非朴槿恵派つぶし」はもちろん「親朴槿恵派」対「真朴槿恵派」など、朴大統領派内でもどちらがより朴大統領を支えているかをめぐり激しいやり取りが繰り返されました。これには政権末期を迎え「レームダック」現

象を回避し、任期満了後も与党内に強い影響力を維持しようとする朴大統領の意向が反映された結果といわれています。強引な大統領官邸側の自派候補選びに業を煮やした金武星(キム・ムソン)セヌリ党代表は、候補者届出締め切り直前に「候補認定証書」に党印と党代表者印を押さないという実力行使に出るいわゆる「玉璽(ぎょくじ：天子の印)」騒動まで表面化する始末です。



▲「私たちが政治の主人だ」と訴える韓国の青年たち

一方、共に民主党も候補選定をめぐる文在寅氏と安哲秀氏との葛藤の末、安氏が離党し新党を立ち上げました。文在寅(ムン・ジェイン)氏は金鐘仁(キム・ジョンイン)氏(元朴槿恵大統領選挙対策本部共同委員長)を党に迎え入れ、党の非常対策委員長(事実上の党代表)としましたが、金代表は「運動圏」「親盧武鉉派」の排除と自らを比例代表の2位に据えるなどで物議を醸しました。さらに安哲秀氏は野党共闘を拒絶し、共に民主党と支持基盤が重なる湖南地方(全羅道)で対立する構図を作り、与党に「漁夫の利」を与える結果になるとの憂慮の声も聞こえます。

3党の候補者選びは有権者本位ではなく、派閥の領袖らの意向が強く反映されたもので、まさに「国民の選ぶ権利」を遮断する結果を招いています。今回の総選挙の結果は朝鮮半島の行く末にも大きな影響を与えます。昨年12月の韓日外相合意で日本に大幅譲歩し、南北交流の象徴であった開城工業団地の閉鎖で南北対立を煽るなど、すでに韓国国民は経済的苦境に追い込まれて久しく、総選挙で保守守旧勢力が議席を増やせば、次は「憲法改悪」が待っています。高い関心を持って韓国の総選挙を見守る必要があります。(鐵)

情勢認識を共有し、 2016年事業計画を確認する 韓統連大阪本部活動者会議

昨年1年間の韓統連大阪本部の事業総括と2016年度事業計画を論議・確認する「韓統連大阪本部第14期第1回活動者会議」が3月20日(日)、ぱだん(つるはし交流ひろば・大阪市生野区)で開かれた。



▲主催者挨拶を行う金隆司代表委員

活動者会議では金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を行い、「今日の活動者会議は2月の韓統連中央委員会で確認した▲朴槿恵・セヌリ党政権を退陣させよう、▲第2の6・15時代をきりひらこうなど5項目の運動方針を、大阪の地でどのように具体的に推進していくのかを論議・確認する場です」と述べ、「皆さんと活発な討論を通じ、今年度の事業計画を確認していきましょう」と語った。

次に、孫亨根(ソン・ヒョングン)韓統連中央本部議長が「現在、韓米合同軍事演習が行われており、朝鮮半島の軍事緊張は極度に高まっている」と述べながら、「このような厳しい情勢の中、韓統連が朝鮮半島の平和と統一を訴えて運動することはとても重要であり、韓統連大阪本部もより積極的な活動を展開してほしい」と挨拶した。

続いて、崔誠一(チュ・ソンイル)事務局長が2015年度事業総括案を行い、金昌五(キム・チャノ)副代表委員が情勢報告を行った。特に情勢報告では▲北朝鮮が水爆実験を実施した背景、▲韓国・米国・日本が中心に行っている制裁強化の問題、▲米国による危険千万な戦争瀬戸際政策などについて報告され、認識を共有した。

そして、2016年度事業計画案が崔誠一事務局長から提案され、▲韓統連セミナーの開催、▲

春季と秋季のバーベキュー大会開催、▲「週刊韓国ニュース」の普及活動などの事業について討論して、事業総括案と共に採択された。

その後、趙暎和(チョ・ヨンファ)韓青大阪府本部常任委員、金昌範(キム・チャンボム)韓統連大阪本部常任委員が力強い決意表明を行い、最後に金昌秀(キム・チャヌ)副代表委員が閉会挨拶を行い、活動者会議は終了した。

日韓民衆連帯運動をより発展させ 朝鮮半島の平和統一を実現しよう！ 連帯の夕べ

日韓民衆連帯運動のより一層の発展に向けて、韓統連大阪本部主催で「連帯の夕べ」が3月20日(日)、ぱだん(つるはし交流ひろば)で開催され、多くの在日同胞、日本の労働組合・市民団体代表などが参加した。

連帯の夕べは1部・2部形式で進行され、第1部では金隆司代表委員が主催者挨拶を行った後、孫亨根韓統連中央本部議長が「朝鮮半島の自主化と日本」をテーマに記念講演を行った。



▲記念講演を行う孫亨根議長

孫議長は講演を通じ「朝鮮はイラクやリビアなどの国が米国によって自主権を奪われ、国家が崩壊した結果を見ながら、自国の自主権を守るために限定された防衛費の中、最も効果的な兵器として核・ミサイルの開発をしている」と指摘した。

そして「現在、史上最大規模の韓米合同軍事演習が朝鮮半島で進行されており、米国は核兵器をちらつかせ朝鮮への軍事的圧力を強化している」と述べ、「朝鮮半島の平和統一を望む韓日民衆が団結して、軍事演習の中止、平和協定締結のため朝米対話の実施を訴えていかななくてはならない」と主張した。

第2部の懇親会では、食事を交えながら各テーブルで親睦と交流が深められ、そして、各団体代表からのスピーチでは、韓統連大阪本部と共に日韓連帯運動の強化・発展に向けて運動を進めていく決意などが語られた。

また、昨年ソウルで開かれた第1次民衆総決起大会の状況を伝える映像資料が上映されるとともに、短歌と沖縄三線の演奏も披露され、最後に姜明寿(カン・ミョンス)副代表委員が閉会辞を述べ、連帯の夕べは終了した。

韓国進歩勢力の歴史と 課題について学ぶ

韓統連生野支部連続セミナー第2回

韓統連生野支部主催による2016連続セミナー第2回「韓国進歩勢力の歴史」が3月6日(日)、韓統連生野支部で開かれ、生野支部会員などが参加した。



▲韓国進歩勢力の課題などについて討論する参加者

セミナーでは、金昌秀(キム・チャンス)韓統連生野支部代表委員が主催者挨拶を行った後、金昌範(キム・チャンボム)副代表委員が報告を行った。金昌範副代表は最初に、自身が考える「進歩勢力(運動)とは何か」について、「民衆の人的尊厳に基づいた生を侵害する韓国社会の根本的な矛盾を見据え、その克服のために民衆とともに闘う集団や運動」と説明した。

続いて、祖国の解放後から現在に至るまでの歴史と、その時代ごとの進歩団体・個人の活動を振り返りながら「解放直後から現在まで、韓国では多くの進歩的団体・個人が民族のため、祖国のために運動を進めてきたが、歴代独裁政権が“北の

スパイ”とデッチ上げ、国家保安法によって弾圧された」と述べ、最後に今日の韓国進歩勢力の課題について、進歩政党として誕生した統合進歩党に対する朴槿恵政権による徹底した「従北」攻撃と党内の分裂などを指摘しながら、「反北イデオロギーを克服することと、より民衆に依拠して運動を推進することが重要」と語った。

報告終了後は、参加者同士の活発な討論が行われ、第2回セミナーは終了した。

稲嶺進 沖縄県名護市長が、 辺野古新基地建設の阻止を訴える！ イラク開戦13周年反戦・平和集会

「イラク開戦13周年 廃止しよう！戦争法、とめよう！新基地建設関西集会(主催：同実行委員会)」が3月27日(日)、中之島中央公会堂(大阪市北区)で開かれ、在日同胞、日本の労働組合・市民団体会員など1500余名が参加した。

集会では開会挨拶、連帯挨拶に続き、沖縄県名護市長である稲嶺進さんが講演を行った。稲嶺さんは講演を通じ「日本政府はこの間、辺野古新基地建設を推進するために、沖縄振興策として多額のお金をバラまいたが、お金のほとんどは公共事業という名で一部のゼネコンなどが使っているだけで、沖縄県民の生活は豊かになっていない」と日本政府の政策を批判した。そして「私は単に新基地建設反対ではなく、新基地を絶対作らせないという強い意志を持って闘う」と述べ、「平和を守るために共に闘っていこう」と訴えた。

次に、講演2としてジャーナリストの青木理さんが舞台に上がった。青木さんは「安倍政権は4月28日を主権回復の日と定め、天皇陛下万歳と叫んだが、沖縄にとっては米軍の占領が合法化された屈辱の日であり、安倍政権は最低限の配慮・教養もない政権だ」と述べながら「新基地建設を阻止し、きれいな沖縄の海を守ろう」と語った。

その後、集会では稲嶺さんと青木さんの対談などが進行され、集会終了後はデモ行進を行い、道行く人々に「戦争法の廃止」などを訴えた。

〈次代を担う若者たち－韓青大阪本部 活動紹介－〉

アンニョンハシムニカ、韓青大阪本部の李俊一(イ・チュニル)です。

韓青では3月4日～6日の日程で、第52回韓青全国冬期講習会「コリアンユースフェスティバル2016」を長崎県で開催しました。今回の講習会では、昨年世界遺産登録されたことで話題になった長崎県・軍艦島を見学する周遊ツアーを行いました。長崎港から船をチャーターして一路軍艦島へ。30分ほど波に揺られていると軍艦島が見えてきました。実際に見た軍艦島は絶海の中で圧倒的な存在感を誇り、不気味な雰囲気を漂わせていました。かつて植民地時代の頃、私たちが在日同胞の一世たちがこの島で過酷な労働を強いられ、孤島であるがゆえに脱走することもかなわなかった絶望感を考えると、胸が締め付けられる思いがしました。



▲班別討論の様子

その後「長崎在日朝鮮人の人権を守る会」の柴田利明さんから植民地時代の朝鮮人強制連行の状況や、炭鉱での過酷な労働、監獄島とも呼ばれた閉鎖された空間であったことなどを講演して頂きました。2日目は金承民(キム・スンミン)韓青中央委員長が「ともに民族的に生きよう」というテーマで講演を行い、班別討論では在日同胞の差別状況や民族的な生き方などについて思いを語りあいました。韓青文化マダンでは各本部が準備してきた文化発表披露と各班ごとの寸劇発表が行われ、韓青大阪本部はノレ(歌)アンサンブルを発表して「朴槿恵政権の悪政糾弾」「韓日慰安婦合意反対」「祖国統一と平和の実現」をテーマに、関連するノレと共に力強くメッセージを発表しました。

今回は従来のスキー、スノーボードからの大幅な内容の変更を行いました。参加者には大変好評で、これからも従来の形に捉われない新しい活動を追求していこうと決意できました。

冬期講習会 感想文

軍艦島の歴史を学べた貴重な経験でした

韓青大阪本部 張智久(チャン・チク)

冬期講習会に参加された皆さん、スゴハシヨスムニダ(ご苦労さまでした)。

前回までの雪山とは違い、今回は軍艦島のフィールドワークとその歴史についての講習会でした。

世界遺産として登録された軍艦島の歴史学習で、私たちが在日同胞の祖先がどのような環境で徴用され、働いたかについての話を聞くことができ、当時の島内の地図や労働者の証言が記された資料を頂き、島の歴史について学べた貴重な経験だったと思います。

2日目の講習では金承民委員長が自身の自分史をお話されて、韓国人としての自覚をした時の衝撃は想像するだけで凄かったものだろうと思いました。

班別討論では、班員の考え方がぶつかることもありましたが、意見を言い合うことは大事なことだと改めて感じました。文化発表&各班ごとの寸劇は各班、各地方の特色が出てとても面白く、考えされるものになりました。

自身としては韓青大阪本部の発表は皆と盛り上がり、思っていた以上に良かったと思いました。寸劇では賞を狙いに行きましたが獲れず、一緒にいたソンテ君が発表の時、これはきたと思って声を上げたらぬか喜びで恥ずかしかったです(笑)。企画・司会・準備して頂いた皆様本当にコマッスムニダ(ありがとうございました)。

今回のユースフェスで私と他の仲間との学習意識の違いや、明確な目的の違いを痛感しました。私は自分自身の人間力向上のために、他の仲間は民族を仲間に伝えたり、祖国統一を仲間と共に目指して、自分の今後を凄く考える機会になっています。これから道を切り開いてどう進むのか。後悔のないように考えていきたいと思っています。

【コラム】 海路半万里——15世紀 琉球に贈られた朝鮮の大蔵経（上）

沖縄の首里城から脇の坂道をうかがえば、円鑑池と呼ばれる人工池が見下ろせる。南国らしい鬱蒼と茂った樹林に囲まれた小さな堀は、沖縄の暑さを一時忘れさせる清涼な空気に包まれている。

池中の長方形の小島には、弁才天（ベンザイテン）を祀った赤瓦の堂宇（トウウ・堂の建物）が建てられている。この弁才天堂、かつて朝鮮から贈られた「方冊蔵経（ホウサツゾウキョウ・仏教経典の大百科のようなもの）」が安置されていたという伝承が残っている。

1945年の沖縄戦で日本陸軍の司令部が置かれていた首里城は、米軍の集中砲火を受け、多くの建物・文化財が破壊された。戦後、復元整備事業により守礼門などの建築物が再建され、修復工事が現在も進められている。

弁才天堂もまた、沖縄戦で破壊されたものを再建したものだ。歴史を遡れば弁才天堂の創建もまた、1609年の薩摩の侵略で破壊された蔵経閣（輪蔵・リンゾウ・仏教の寺院内等に設けられる経蔵の一種）の跡地に改めて弁才天を祀ったものであり、沖縄が蒙った戦火の歴史が偲ばれる。

さて、弁才天堂の元となった蔵経閣。納められていた「方冊蔵経」とは冊子形式で綴じられた「高麗大蔵経」のことだ。沖縄の史書である「球陽によれば、琉球の尚徳王（在位1461－1469）が朝鮮へ使者を派遣してオウムや孔雀などの礼物を贈り、朝鮮の世祖（在位1455－1468）は返礼として方冊蔵経を琉球へ贈ったとある。

この話は朝鮮側の「朝鮮王朝実録」にも見え、1467年（世祖13、尚徳王7）の7月13日の記事に琉球国王が僧同照・東渾らを派遣し、オウム、大鷄（孔雀）、胡椒、犀角、書籍、沈香、

天竺酒などを贈ってきたと述べている。

もともと、朝鮮側と琉球側の記録には若干の違いがあり、大蔵経自体はこの前回（1462年）の琉球使節がやってきた時、琉球国王の求めに従ってすでに琉球側に渡しており、1467年に送ってきたオウムや孔雀、中国の書籍は、朝鮮が琉球にリクエストしたものらしい。朝鮮側はこれに対してもまた大量の仏教経典を返礼として贈っている。

当時の琉球は海洋貿易の一大拠点として、各地に使節や貿易船を派遣していた。琉球の外交文書を編集した『歴代宝案』をみれば、朝鮮や日本、中国との通交はもちろん、中国の福州を中継して東南アジアのシャム（タイ）やマラッカに貿易船を派遣している。

これらの国々との貿易で、15世紀の琉球は大いに盛えた。先に見た朝鮮への礼物であるオウムや孔雀、書籍なども東南アジアや中国から仕入れたものだろう。世祖は貿易国家である琉球に関する情報を知っており、ここに仏教経

典を求める琉球と、遠方の貿易品を求める朝鮮の間で海路貿易が成立したのだと考えられる。

沖縄に残る当時の梵鐘（ボンソウ）「万国津梁の鐘」には貿易国家・琉球の気概を示す有名な銘文が刻まれている。「琉球国は南海の勝地にして、三韓（朝鮮）の秀を鍾め、大明を以て輔車となし、日域（日本）を以て唇齒となす。此の二者の中間に在りて湧出する所の蓬莱島なり。舟楫（船舶）を以て万国の津梁（かけ橋）となし、異産至宝は十方刹に充滿せり……」。

琉球は中継貿易で繁栄し、朝鮮もまた琉球の貿易ネットワークと繋がり、東南アジアの産物を輸入していた。現在、それを示す大蔵経が伝わっていないのは、残念に思える。（好）



▲現在の弁才天堂

◆◆映画紹介◆◆

インサイダーズ-内部者たち

今回紹介する映画は、韓国では「実際に、こういうことがあるのだろう」と思わせる映画です。題名は韓国では「内部者たち」ですが、日本では「インサイダーズ-内部者たち」と変わっています。

物語は、与党の次期大統領候補と癒着している財閥の会長、そして有名新聞社の論説委員、この3名が韓国社会を動かす内部者なのですが、ある日、彼らの裏の仕事をしてきたヤクザのアン・サングが、財閥の会長が大統領候補に裏金を送っていた証拠のファイルを手に入れた、それをもとに財閥と取り引きしようと企てるのですが、失敗して全てを失います。

一方、この裏金を捜査中だった若き検事ウ・ジャンフンは、アンに裏金の証拠ファイルを横取りされ、学歴もコネもない彼は全ての責任を負わされて左遷されます。

内部者たちの復讐を計画するアン・サング、アンを利用して裏金の証拠ファイルを握り、検事として成功したいウ・ジャンフン、裏金の証拠が明

らかにされるのを阻もうとする内部者たち。この構図で騙し、騙されながら物語は進んでいきます。果たしてラストはどういう結末になるのか？



この映画、韓国では残虐なシーンが多いということもあり青少年の観覧は禁止されましたが、歴代トップの動員を得たそうです。政治家と財閥が癒着して起こる様々なスキャンダルは過去も今も、韓国社会に暗い影を落としており、その悪党と闘うところに好感が持たれたのかもしれませんが。また主演の一人、アン・サング役のイ・ビョンホンの熱演もあります。

確かに残虐なシーンではありますが、時々イ・ビョンホンが笑わせる場面もあり、私は楽しく見れました。何ととっても、映画の最初の記者会見の場面で、アン・サング自ら右手が義手であることを明らかにする場面は印象的で、ここから本格的に物語が始まるという緊張感がありました。尚、日本でもこの映画、R15指定です。

(ソン)

◆◆行事案内◆◆

韓統連生野支部連続セミナー③

第2の6・15時代をきりひらこう

日時：4月17日(日) 午前11時～

場所：韓統連生野支部

大阪市生野区勝山南4-1-13

資料代：会員300円／一般500円

連絡先：090-4495-3863 (金)



韓統連大阪本部

春のバーベキュー大会

日時：5月1日(日) 午前11時～ (雨天中止)

場所：大阪城公園 東外濠東側バーベキュー区域

参加費：大人：2000円・中・高校生：1000円

小学生以下：無料

※ビールは当日販売します。お茶は無料です。

※おにぎりなどは、各自で持参ください。

当日の連絡先：090-3822-5723 (崔)

編集後記

いよいよ花見とプロ野球の季節になりました。大阪の花見の満開は少々遅れている感じですが、わがGも、トラも調子が良いようです。Gは不祥事が続き、信頼を回復するためには勝利しかありません。40歳の新人監督には荷が重い話ですが、期待しています。秋にはトラと首位攻防戦かな？ (ソン)